

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ。

令和2年7月

浜田市が目指す将来像

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田
～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第2次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、各種施策に取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

- I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち
- II 健康でいきいきと暮らせるまち
- III 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち
- IV 自然環境を守り活かすまち
- V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち
- VI 安全で安心して暮らせるまち
- VII 協働による持続可能なまち

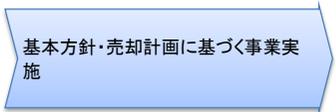
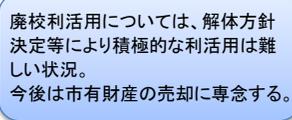
このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

※元号は平成31年4月までを「平成」として記載しています。

【総務部行財政改革推進課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
1	市有財産の利活用	遊休財産の処分等による財源確保	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産利活用方針等の策定 <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産利活用方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ①方針の検討、策定(4~5月) ②議会報告・公表(6月) (2)市有財産売却計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ①当面5年間の売却計画を策定(4~5月) ②議会報告・公表(6月) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産売却計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産売却計画の改訂 <ul style="list-style-type: none"> ①売却物件の検討、調整(4~7月) ②売却計画改訂版案の作成(6~11月) ③売却計画改訂版の決定、公表(12月) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○市有財産売却計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> (1)市有財産売却計画の改訂 <ul style="list-style-type: none"> ①売却物件の検討、調整(4~6月) ②売却計画改訂版案の作成(7月) ③売却計画改訂版の決定、公表(9月) 	
				<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旧原井小プール跡地(11月売却) ・旧七条一般住宅(10月売却) ・旧熱田住宅跡地(10月売却) ・旧那賀会館跡地(来年度以降に見送り) ・旧城北住宅(11月売却) ・旧旭ヶ丘教職員住宅(2月売却) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旧給食センター跡地(3月売却) ・旧那賀会館跡地(3月売却) (2)その他物件の売却 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○売却可能物件の処分 <ul style="list-style-type: none"> (1)売却可能物件の公募、売却 <ul style="list-style-type: none"> ・旭インター周辺用地 ・上神代屋住宅 (2)その他物件の売却 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付中の物件等(随時) ・里道、水路(随時) 	
				<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)公募の実施・事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ①募集方法の検討(4月~9月) <ul style="list-style-type: none"> ・貸付料算定方法の見直し ・プロポーザル方式ルールの検討 ②募集物件と解体物件の選考 ⇒ 利活用策検討のため公募は中止 (2)利活用策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ①活用物件と解体物件の選考(9~3月) ②活用物件の有効活用策を検討(1~3月) 	×	△	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)利活用物件の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・利活用物件と解体物件の決定(12月) (2)利活用物件の事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の募集、選定(随時) ⇒1事業者決定 	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校等の利活用 <ul style="list-style-type: none"> (1)利活用物件の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・利活用物件と解体物件の決定(12月) (2)利活用物件の事業者選定 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の募集、選定(随時) ⇒1事業者決定 	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【総務部防災安全課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
2	災害に強いまちづくり	住民の防災意識の向上	○	○	実施した内容	○ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの作成 ・L2津波の浸水想定区域における津波ハザードマップの作成、配布(3月) ・啓発(出前講座)、津波避難誘導板の設置準備(ハザードマップ作成後に計画していたため未実施)	○	○	<p>地震津波に関する各種啓発活動</p> <p>海拔表示版及び津波避難誘導板の更新準備</p> <p>洪水及び土砂災害に関する啓発活動</p>
		(2)土砂災害ハザードマップの作成 ①島根県との情報共有 ・島根県がレッドゾーン指定(平成31年4月) ・島根県が想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域を見直し(令和元年度中) ②指定区域の見直しに伴うハザードマップの更新 ・令和2年度末頃完成、配布予定				(2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成準備(令和2年度末頃完成、配布予定) ・県によるレッドゾーン指定(4月) ・県による想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域の見直し(3月) ・啓発学習のコンテンツ作成準備 ・ハザードマップ仕様の検討	(2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成及び周知 (1)津波ハザードマップの周知 ・地震津波に関する周知啓発 ・海拔表示版及び津波避難誘導版の更新準備 (2)洪水・土砂災害ハザードマップの作成及び周知 ・県による想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域の公表(6月) ・ハザードマップの作成・配布(令和2年度末頃完成・配布予定) ・洪水及び土砂災害に関する周知啓発		
		自主防災組織の拡大	△	△	実施した内容	○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する補助事業活用支援や啓発等を実施し、第1期は、新たに4団体が組織化 ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動メニューに係る指導・助言を実施	○	○	<p>自主防災組織がない地域への組織化支援</p> <p>自主防災組織への啓発活動(第3期)</p> <p>活動の振り返り、次期計画への展開</p>
		○地域防災力の向上 (1)地域防災の啓発 ①全地域での自主防災組織づくり ・自主防災組織がない地域に対する組織化支援(補助事業活用支援及び啓発等) ②避難先、訓練方法等の検討 ・自主防災組織の訓練方法や避難経路など防災活動に係る指導・助言				○	○		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部定住関係人口推進課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
			項目	評価	項目	評価		
3	関係人口創出拡大	「関係人口」の力を地域に活かし、将来的な移住定住に繋げる	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○「関係人口」と継続的に関わる仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 浜っ子LINEクラブによる情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・LINEによる情報発信(毎月) ・成人式にて新規会員獲得(1月) ・市内高校・県立大学・リハカレ等の卒業式で新規会員獲得(3月) (2) (仮称)浜田応援団の設立 <ul style="list-style-type: none"> ・浜田応援団設置要綱制定(7月) ・広報、市ホームページ、チラシなど各種媒体を使った周知 ・団員募集(8月) ・団員決定・リスト化(9月)【目標:30名】 ○地域課題とのマッチングの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 組織体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市人会との連携 ・庁内組織(自治区、関係課)との連携 (2) 地域課題の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の拾い上げ(6~8月) ・団員リストとのマッチング(9月以降) (3) 中間支援組織の導入による組織強化 <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口創出・拡大のための中間支援モデル事業採択(7月) 	継続・発展

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
			項目	評価	項目	評価		
4	特定地域づくり事業協同組合支援	Uターンを希望する若者を雇用し地域経済の活性化に寄与する組合を支援する	実施した内容	項目なし	実施した内容	項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ○特定地域づくり事業協同組合の設立支援 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業開始に向けた組合設立の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・組合員となる事業者及び派遣労働者の確保、事務局職員の確保などの調整(7~8月) ・組合申請(10~11月) ・組合設立(12~1月) ・組合運営スタート(2月) 	運営支援

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり推進課、健康福祉部地域福祉課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価		
5	敬老福祉乗車券制度の推進	敬老福祉乗車券の制度周知及び利用促進	○	○	○	○		
		実施した内容 ○敬老乗車券制度の見直し (1)制度の再構築に向けた協議 ①福祉施策と公共交通施策との融合 現行の ・福祉タクシー券(障がい者)、 ・敬老乗車券(高齢者) に加え、その他交通弱者などに配慮した制度への再構築を検討 福祉タクシー利用券・いきいきバス乗車券(障がい者)と敬老乗車券(高齢者)を融合した敬老福祉乗車券制度を再構築 (2)再構築制度の周知 ・広報はまだ、ホームページ、ケーブルテレビ等で周知		実施した内容	事業実施 (令和元年度から3か年度)			

【地域政策部まちづくり推進課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価			
6	公共交通の再編	より使い易い地域公共交通体系への再編							
		実施した内容 項目なし		実施した内容	項目なし		○公共交通の再編 (1)公共交通ネットワークの再構築 ①市生活路線バス・市予約型乗合タクシーの契約更新(令和3年度)に向けた交通手段の見直し ②タクシーを活用した、ドアトゥドア型の新たな交通手段の検討 ③市予約型乗合タクシーの充実 (2)民間バス路線廃止に伴う代替交通の確保 ①機田原線 ②今市線 (3)1日乗車券の検討	事業実施	

【健康福祉部健康医療対策課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価		
7	在宅支援体制等の充実	地域包括支援センターの運営方針の見直し		△		△		
		実施した内容 ○地域包括支援センターの運営方針の見直し (1)地域包括支援センター運営協議部会へ方針提案 ①設置数と担当区域 ②人員の配置や専門職の確保、育成 ③地域包括支援センター業務の民間委託等 ⇒効果的かつ安定的な運営確保のため、更なる検討が必要と判断し、運営方針見直しの提案には至らなかった		実施した内容	○地域包括支援センターの運営方針の見直し (1)地域包括支援センター運営協議部会へ方針提案 ①設置数と担当区域 ②人員の配置や専門職の確保、育成 ③地域包括支援センター業務の民間委託等 ⇒民間委託の方向で協議中		方針に基づく事業実施	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部健康医療対策課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
8	まちをあげた市民の健康づくり	健康なコミュニティの仕組みづくり (令和元年度)							
		実施した内容	○	○	○	○	○	○	事業実施
			△	○	△	△	△	△	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【健康福祉部子育て支援課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
9	子どもを安心して産み育てる環境の充実	子育て世代包括支援センターの整備 (令和4年度供用開始)	○	△	実施した内容	○子育て支援センターの整備 (1)子育て支援センター基本構想の策定 ・議会との意見交換(8月) ・整備場所の決定(9月) ・基本構想案の策定(11月) ・パブリックコメント(12月) ・基本構想の策定(1月)	○	○子育て世代包括支援センターの整備 (1)子育て世代包括支援センターの実施設計 ・委託契約締結(5月) ・実施設計(～2月)	整備	
		民間委託の検討 (令和2年3月方針決定)	○	○		○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託(1か所程度)の実施 ・保護者への説明(9月) ・プロポーザルの実施(11月) ・委託業者決定(11月) ・委託契約締結(3月) ・条例改正等提案(3月) ⇒委託業者と協議中のため、令和2年6月に延期	○	○放課後児童クラブの運営の民間委託 (1)放課後児童クラブの民間委託(1か所程度)の実施 ・条例改正等提案(6月) ・保護者への説明(7月) ・民間委託開始(10月) (2)他の放課後児童クラブの運営方針を検討し、方針決定 ・民間委託した放課後児童クラブの運営状況を確認しながら、他の放課後児童クラブの方針を決定	方針に沿った事業実施	
		病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 (令和3年度供用開始)	項目なし			項目なし		○病児・病後児保育室、休日応急診療所の整備 (1)病児・病後児保育室、休日応急診療所の実施設計 ・議会への方針説明(5月) ・補正予算上程(6月) ・委託契約締結(8月) ・実施設計(～2月)	整備	供用開始
		多子誕生(第3子以降)応援事業の検討 (令和3年度実施)	項目なし			項目なし		○多子誕生(第3子以降)応援事業の検討 (1)第3子以降の未就学児童、就学児童を対象とした応援事業の検討(～10月)		方針に沿った事業実施

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部商工労働課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
10	BUY浜田運動	BUY浜田運動の浸透及び定着	実施した内容	△	実施した内容	△	○	○	BUY浜田運動の実施
		<p>○BUY浜田運動の実施</p> <p>(1)運動継続の仕組みづくり</p> <p>①推進委員会の開催(10月、3月)</p> <p>②市民を対象とした認知度等アンケート調査実施(11月、12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート内容は、県大准教授に相談 アンケート実施は県大生と協力 アンケート場所:服部タイヨー(11月)、JAきんさい市場(11月)、ダップス(11月)、ゆめタウン浜田(11月)、キヌヤパル店(12月) <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知っている」27.8% 「聞いたことがある」26.5% 「知らない」45.7% <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街や地元商店との連携強化 							
		<p>(2)BUY浜田屋市の開催(4月、10月)</p> <p>①県立大学生が主催する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まちなかキャンパス」と連携開催 県立大学生、紺屋町・朝日町商店街、商工会議所青年部と連携して開催 BUY浜田屋市出展者:23事業所 春開催(4月)の来場者1,100人 秋開催(10月)の来場者1,300人 							
		<p>(3)運動グッズによる啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動グッズ(のぼり旗、ポスターなど)を取扱店に配付(随時) レシピカードの配布(春夏用、秋冬用) <p>⇒認知度等アンケート調査で、「知らない」と回答した方が45.7%であったことから、更なる周知啓発活動が必要</p>							
		<p>(4)BUY浜田運動テーマソング</p> <ul style="list-style-type: none"> 市職員有志でテーマソング作成 県立大学ダンス部とダンスとともにPR まちなかキャンパスで披露(10月) BB大鍋フェスティバルでPR(11月) 							
					<p>○BUY浜田運動の実施</p> <p>(1)運動継続の仕組みづくり</p> <p>①推進委員会の開催(6月、2月)</p> <p>②市民を対象とした認知度等アンケート調査実施(12月、市内5店舗にて)</p> <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知っている」29.1% 「聞いたことがある」26.3% 「知らない」44.6% <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街や地元商店との連携強化 BUY浜田運動協賛店を新設 浜田スタンプ会との連携 BUY浜田運動対象品の拡大 ⇒食品以外の製造品、加工品を追加 				
					<p>(2)BUY浜田屋市の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街等と連携した開催(5月) 来場者1,000人 開府400年記念イベントに併せた開催 浜田川で舟あそび(8月) 総来場者3,000人 開府400年祭記念式典(10月) 総来場者3,000人 				
					<p>(3)運動グッズなどによる啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者に見てもらいやすい商品棚に小旗やポップの掲示強化 <p>②小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会と連携した取組 学校給食献立表にBUY浜田運動の紹介文を掲載 <p>③BUY浜田運動テーマソング</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立大学生の協力による動画作成(1月) 市ホームページ、Youtube掲載 市内小売店、保育所・幼稚園へ配布 BB大鍋フェスティバルなどのイベントで県立大学ダンス部と一緒にPR <p>④広報はまだによる周知</p> <ul style="list-style-type: none"> BUY浜田運動の特集記事掲載(8月) 				
					<p>○BUY浜田運動の実施</p> <p>(1)運動継続の仕組みづくり</p> <p>①推進委員会の開催</p> <p>②市民を対象とした認知度等アンケート調査</p> <p>③運動拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街や地元商店との連携強化 宅配・テイクアウトリスト作成周知 				
					<p>(2)BUY浜田屋市の開催</p> <p>①商店街等と連携した開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、春中止、秋開催予定 				
					<p>(3)運動グッズ等による啓発活動</p> <p>①取扱店での啓発</p> <p>②BUY浜田運動テーマソング動画の活用</p> <p>③小中学校への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会と連携した取組 <p>④広報はまだによる周知</p>				

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価				
11	事業承継・創業支援対策	<p>事業承継の推進</p> <p>事業承継相談カルテを200社作成(令和3年度までの累計)</p>	<p>○事業承継の推進</p> <p>(1) 浜田事業承継サポート窓口の開設(5月) [場所] 浜田商工会議所、石央商工会 [役割] ①事業承継に関する相談 ②事業譲渡の相談 ③譲渡先の紹介や創業を目指す起業家とのマッチング [体制] 商工団体、金融機関等と連携し、事業譲渡や創業の情報を収集できる体制の構築 [目標] 事業承継相談カルテ50社作成 ・浜田商工会議所 22件(3月末) ・石央商工会 23件(3月末)</p> <p>⇒後継者不足に対応するため外部人材の確保など第三者承継の推進が必要</p>	△	△	<p>○事業承継の推進</p> <p>(1) 浜田事業承継サポート窓口 [目標] 事業承継相談カルテ50社作成 ・36社(3月末)</p> <p>(2) 浜田市事業承継推進会議の開催(4月、11月、3月) 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理</p> <p>(3) 事業承継セミナーの開催 ・商工団体を中心となって開催(浜田市事業承継推進会議が後援) ・現経営者向けセミナー(9月) ・後継者育成セミナー(11月) ・経営戦略構築セミナー(1月)</p> <p>(4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・後継者を希望する地域おこし協力隊員の募集及び決定 募集: 4月～12月 決定: 2名(令和2年4月以降活動開始) ・後継者を探している事業所の募集 市内7社(小売業、運送業、宿泊業、飲食業)において協力隊員の受入れ検討中。 協力隊員の活動開始後、募集予定 ②料理人等人材育成支援事業 ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集及び決定 募集: 6月～2月 決定: 1名(令和2年4月以降に活動開始) ・料理人が不足している飲食店、旅館等の募集(5月～1月) ・料理専門学校等との協定締結 ⇒タブチ学園(松江栄養調理製菓専門学校)と協定締結(7月)</p>	△	△	<p>○事業承継の推進</p> <p>(1) 浜田事業承継サポート窓口 [目標] 事業承継相談カルテ50社作成</p> <p>(2) 浜田市事業承継推進会議の開催 構成機関 商工団体、金融機関、行政 ①事業承継推進策の検討 ②浜田事業承継サポート窓口の進捗管理</p> <p>(3) 事業承継セミナーの開催 ・商工団体を中心となって開催(浜田市事業承継推進会議が後援)</p> <p>(4) 地域おこし協力隊制度の活用 ①後継者マッチング支援事業 ・協力隊員と事業所のマッチング支援 商工団体、金融機関等と連携して実施 委嘱日: 5月～(1名) ・後継者を探している事業所の募集 市HP、商工団体の会報等で周知 ②料理人等人材育成支援事業 ・飲食店、旅館等における協力隊員の活動支援 委嘱日: 4月～(1名) ・料理人を希望する地域おこし協力隊員の募集(追加1名)</p>	<p>事業承継の推進</p>
			<p>起業・創業者数の増加</p> <p>・年間33件以上</p>	<p>○起業・創業支援</p> <p>(1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催(10～11月) ・計4回実施、参加者15名 ②シニア・若者向けセミナーの開催(12～1月) ・計6回実施、参加者23名 ③資金調達セミナーの開催(9月) ・日本海信用金庫、日本政策金融公庫と連携して開催 ・クラウドファンディング実施者による体験談 ・参加者40名</p> <p>(2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施(10名)</p> <p>起業・創業者数: 34件</p>	○	○	<p>○起業・創業支援</p> <p>(1) 起業セミナーの開催 ①女性向けプチ創業セミナーの開催 ・4回コース(8月～9月)、参加者15名 ②シニア・若者向けセミナーの開催 ・6回コース(10月～11月)、参加者23名</p> <p>(2) 起業家のフォローアップ ①起業セミナーの受講者を対象とした個別相談の実施 ・参加者7名</p> <p>起業・創業者数33件</p>	○	○	<p>起業・創業支援</p>

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部産業振興課】

項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
		評価	総合評価	評価	総合評価		
12	物流改善 市内企業の物流コストの低下による商品競争力(商品価格)の維持	○	△	○	○		
	実施した内容	○物流の調査・検討 (1)物流調査 ・トラック協会へ調査実施(6月) ・商工団体及び情報を必要とする市内企業へ情報提供 (2)既存配送便の活用研究 ・有機野菜生産グループの市場便、ルート便の活用を検討 (3)民間企業への働き掛け ・民間企業に地域商社機能を担うよう働き掛け、1社が事業開始(3月)		○物流の調査・検討 (1)物流調査 ・トラック協会へ調査実施(6月) ・商工団体及び情報を必要とする市内企業へ情報提供 (2)既存配送便の活用研究 ・浜田から広島への物流について研究を継続 有機野菜生産グループの一部区間について自社配送していたが、既存流通業者へ委託完了			

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部農林振興課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
13	農林業の振興	集落営農の推進と担い手確保 ・集落営農の法人化8組織 ・認定農業者8名 ・農業研修生10名 (令和3年度までの累計)	○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標3組織) ・2法人設立 (2)認定農業者育成(目標3経営体) ・3経営体達成 (3)農業研修生の確保(目標3名) ・2名決定(平成31年4月から)	△	○	○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標2組織) ・2組織法人化協議中(2年3月現在) (2)認定農業者育成(目標3経営体) ・5経営体(個人3件、法人2件) (3)農業研修生の確保(目標3名) ・2名決定(元年10月及び2年4月から)	△	○	○農地集積と担い手対策 (1)集落営農の法人化(目標3組織) (2)認定農業者育成(目標3経営体) (3)農業研修生の確保(目標3名)	担い手の確保、育成支援
		振興作物の生産拡大 ・3果樹の農業産出額2億2千万円(令和3年度) ・組合せ作物の農業産出額2千万円(令和3年度)	○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 ①新規経営体等の確保 ・大粒ぶどう 3経営体(新規就農) ・梨 1経営体(経営継承) ・西条柿 1経営体(新規認定農業者) (2)組合せ作物の生産拡大 ①実証圃設置(目標20件) ・11件(キャベツ4件、あすっこ1件、アスパラガス5件、大豆1件) ②組合せ作物の追加 ・なすとインゲンを追加	○	△	○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 ①大粒ぶどう ・リースハウス整備(2件、5,216㎡) ・加温2重被覆化(4件、5,702㎡) ・農産物総合集出荷施設 ②赤梨 ・ジョイント栽培導入 ③西条柿 ・園地継承について協議中(2名) (2)組合せ作物の生産拡大 ①実証圃設置(目標20件) ・申請件数11件 キャベツ6件(5,230㎡) アスパラガス3件(600㎡) いんげん2件(1,000㎡)	○	○	○振興作物の生産拡大 (1)3果樹の育成支援 (2)組合せ作物の生産拡大 ①新規取組農家の確保(目標10名)	3果樹及び組み合わせ作物の振興
		○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ②入植者の支援 ・TC浜田農場(株)初出荷式(10月)	○	○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ・約5ha農地造成整備中 ②入植者の支援 ・補助事業の新設 ・県と協力した営農支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進 ・弥栄(杵束)地区において調査業務実施	○	○	○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ②入植者の支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進	○	○	○大規模農業の推進 (1)元谷団地の開発 ①県営事業の推進 ②入植者の支援 (2)農地集積に関連した基盤整備事業の推進
		鳥獣被害額の減少 ・イノシシ、サルなどによる農作物被害額を平成29年度比30%減少(令和3年度)	○効果的な鳥獣被害対策の検討 (1)イノシシ被害対策 ①ICT檻の検証 ・イノシシ捕獲 ②忌避剤の効果検証 ・忌避剤を散布した結果、被害なし ・EM菌を実施したが、農地へ侵入あり ③防護柵の効果的な設置方法の普及 ・市内12箇所にワイヤーメッシュ防護柵設置 ⇒水稲被害額 8,630千円(平成29年度)から 6,851千円(平成30年度)となり、イノシシによる被害約20%減少 (2)サル、その他獣類の被害対策 ①サル用囲いわなの検証 ・捕獲及び被害なし (3)人材育成・確保 ①狩猟免許取得者の技術向上 ②狩猟免許新規取得に対する支援 ③狩猟免許取得者の増加 ⇒狩猟免許新規取得者13人	○	○	○効果的な鳥獣被害対策の検討 (1)イノシシ被害対策 ①水稲被害軽減 ・30年度6,851千円⇒元年度7,240千円 ②忌避剤の効果検証 ・20箇所実施(短期間では効果有) ③防護柵の効果的な設置方法の普及 ・8集落で7,806mの柵を設置 (2)クマ、サル、その他獣類の被害対策 鳥獣専門員を中心に、市民からの通報に対し、迅速な対応や被害防止に努め、外来種のヌートリアについては、前年比81%増となる96頭を捕獲 ①クマ、サル対策の体制強化 ・クマの目撃件数178件(30年度154件) ・クマ捕獲数22頭(30年度21頭) ②アライグマ・ヌートリア等の特定外来生物対策 ・アライグマ捕獲数7頭(30年度9頭) ・ヌートリア96頭捕獲(30年度53頭) (3)人材育成・確保 ①狩猟免許取得者の技術向上 ②狩猟免許新規取得に対する支援 18人 ③狩猟免許取得者の増加 20人	△	○	○効果的な鳥獣被害対策の検討 (1)イノシシ被害対策 ①水稲被害軽減 ②防護柵の効果的な設置方法の普及 (2)シカ被害対策 ・成獣捕獲 (3)人材育成・確保	効果的な対策の普及促進 防除体制の強化 狩猟免許取得者の増加と捕獲技術向上

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部水産振興課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
14	水産業の活性化	水産物の販路拡大 ・新規販路開拓20件(令和3年度までの累計)	○	○	○	○	○	○	成果検証・目標再設定 事業実施
		高度衛生管理型荷さばき所整備 ・7号荷さばき所供用開始(令和2年度) ・4号荷さばき所供用開始(令和3年度以降)	△	○	△	○	○	○	成果検証 営業活動の実施
		賑わいのある集客施設の設置(令和2年度)	○	○	○	○	○	○	計画に基づく事業実施 4号荷さばき所建築工事
		実施した内容		実施した内容					賑わいづくりのための事業実施

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

	新たな水産事業 の実施	○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①水産事業実施に向けた経営体の形成支援 ・核となる企業への訪問実施 ・関係団体や地元への説明、関係機関との協議 ・講演会の開催(企業との共同研究へ移行したため未実施) ・事業参画希望者を対象とした研究会開催や先進地視察(企業との共同研究へ移行したため未実施) ・企業との陸上養殖についての共同研究協定の締結(3月) ②「渚の交番」建設支援	△	○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究実施 ・関係機関との協議 ・試掘調査業務(県:5月~9月) ②渚の交番設置団体の建設・運営支援	○	○漁港エリアの活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①企業との陸上養殖の共同研究に基づく事業化に向けた取組実施 ・関係機関との協議 ・事業内容の検討 ・支援策の検討 ②渚の交番設置団体の建設・運営支援 ・建設工事(~6月) ・オープン(7月)	研究結果に基づく事業化の検討 関係機関との協議 事業者決定(県) 事業実施(事業者)
							渚の交番設置団体の運営を支援

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価				
15	「ようこそ！浜田」運動の推進	観光資源を活かした宿泊観光客数25万人の達成								
		実施した内容			実施した内容					
		<p>○おすすめ観光コースとしての、産業観光の商品造成</p> <p>(1)広島市内の旅行エージェントと連携し、商品造成を実施 ⇒広島市からの誘客実績を持つ市内旅行エージェントと連携し、商品造成を実施(1月～2月)</p> <p>(2)広島事務所、旅行エージェントと連携したモニターツアーの実施 ⇒旅行エージェントと浜田市観光協会と連携したモニターツアーの実施(3月)</p> <p>(3)産業観光コースの施設見学、協議(9月) ・島根あさひ社会復帰促進センター ・中国電力三隅発電所 ・神楽産業ほか</p> <p>(4)モニターツアーの検証 ・「石見の神楽」日本遺産認定に向けた準備を優先し、検証は延期</p>	△	△	○	△				
					<p>○おすすめ観光コースとしての、産業観光の商品造成</p> <p>(1)モニターツアーの検証 ・平成31年3月に実施したモニターツアーの検証(6月) ⇒旅行会社のツアー商品としては、補助金などの支援が無ければ採算が取れない ・立寄地の一つとしてツアーに組み込むことも検討 ・広域的な取組も必要</p> <p>⇒ 今後は単独コースとして商品造成するのではなく、立寄地の一つとしてエージェントに提案。旅行会社が自社の商品として造成する際は、事業者との調整等の支援</p> <p>(2)旅行エージェントへのツアー提案 ・浜田広域観光事業実行委員会商品造成 ・広島旅行エージェントと連携し、浜田・江津モニターツアー実施(11月) ・江津高野風力発電所 ・やなぎ水産 ・亀谷窯業 ・石見観光振興協議会主催エージェント商談会への参加(2月) ・関東圏の旅行会社10社</p> <p>(3)旅行エージェントが企画するツアーへの提案及び支援 ・浜田メイプル牧場 ・神楽産業 ・高度衛生管理型荷さばき所 など ⇒旅行エージェントのツアー商品としての催行実績なし</p>	△	○	△		
							旅行エージェントに提案 商品化によるツアー実施の支援			

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
16	石見神楽振興事業	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける東京での神楽上演(令和3年度以降)	実施した内容	○2020東京オリンピック・パラリンピックでの上演(以下のいずれかの方法で実施) (1)東京オリンピック・パラリンピックでの上演(以下のいずれかの方法で実施) ・他自治体と連携した日本神楽大会(仮称)での上演 ・島根県が企画する公演での神楽上演 ⇒(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行う東京2020 NIPPONフェスティバル共催芸術文化プログラムでの上演を検討 ⇒石見観光振興協議会の企画による神楽上演を検討	○	○	○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演 (1)島根県が企画する公演での神楽上演 ①石見観光振興協議会の企画による上演が決定 ・靖国神社(令和2年6月) ・神楽坂毘沙門天(令和2年7月) ・東郷神社(令和2年7月) ・富岡八幡宮(令和2年8月) ・ふるさと祭り東京2021(令和3年1月) ・石見神楽文京公演(令和3年2月)	○	○	○2020東京オリンピック・パラリンピック期間中における東京での上演 (1)島根県が企画する公演での神楽上演 ・石見観光振興協議会の企画による上演 ・靖国神社(6月6日)東京社中 ・神楽坂毘沙門天(7月9日)東京社中 ・東郷神社(7月16日)いわみ福祉会 ・富岡八幡宮(8月10日～12日) ※浜田は12日を担当(調整中) ・ふるさと祭り東京2021(1月)大田 ・石見神楽文京公演(2月) 益田・吉賀・津和野	東京の神社での神楽上演実施
				(2)他自治体と連携した独自神楽大会(仮称)での上演 ・浜田市独自の企画による上演を検討	○		(2)浜田市独自の企画による上演 ⇒石見神楽国立劇場公演が決定(令和2年8月)	○		⇒ 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度に延期	
		「石見の神楽」日本遺産認定(令和元年度)		○「石見の神楽」日本遺産登録 (1)申請ストーリー、構成文化財、振興計画の素案の作成(6月～7月) (2)関係自治体及び神楽に関わる民間事業所との協議(9月～12月) (3)文化庁による事前ヒアリング(8月) (4)日本遺産登録実行委員会の設置と令和元年度認定に向けた協議 ・推進母体を石見観光振興協議会とした (5)申請書の作成・提出 ・島根県文化財課へ提出(1月) ・文化庁へ提出(1月) 「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」	○	○	○「石見の神楽」日本遺産登録 (1)石見観光振興協議会を実施主体とした地域活性化計画の実施 令和元年5月20日に日本遺産に認定 (2)市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の創設(令和2年度から当面5年間)	○	○	○「石見の神楽」日本遺産登録 (1)石見観光振興協議会を実施主体とした・地域活性化計画の実施 (2)市単独の神楽衣裳等新調の補助制度の実施 ・申請受付(4～5月) ・選定委員会及び交付決定(6月)	地域活性化計画の推進
										継続	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
17	クルーズ船対策	浜田港に定期入港するクルーズ客船の増加	実施した内容	○コストクルーズ客船寄港おもてなし(5月、7月、10月) (1)初寄港に伴う歓迎式典の開催 ・埠頭での出迎え、見送り ・船内での歓迎式典の実施	○	○	実施した内容	○コストクルーズ客船寄港おもてなし(7月、8月) ※12月のチャータークルーズ、日韓関係の影響により中止 (1)乗客、クルーへのおもてなし対応 ・専用ホームページによる寄港情報の発信 ・シャトルバスによる市内送迎 ・特産品等の販売 ・近隣ツアーの造成、実施 ・乗船クルーへのサービス(日用品等の買い物対策) ・広島宇品港の受入状況視察(11月)	○	○	○コストクルーズ客船寄港おもてなし ※コスタ・ネオロマンチカ(7月、8月に2回) ※クリスタル・エンデバー(9月) (1)乗客、クルーへのおもてなし対応 ・専用ホームページによる寄港情報の発信 ・シャトルバスによる市内送迎 ・特産品等の販売 ・近隣ツアーの実施	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度のクルーズ客船の寄港は全て中止。今後については、クルーズ船の感染防止対策の実施状況やクルーズ船へのニーズを踏まえ、再検討。 </div>
				○クルーズ客船誘致 (1)船社へのセールスを実施 ・県と旅行会社等の関係機関と連携実施 (2)クルーズ客船のオプションツアーの商品提案 ・浜田港振興会にて船社、ツアーを企画する旅行会社を訪問し、見直しを提案(12月)				○			○	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価			
18	交流人口増加のための個人来訪者向け施策の展開	外国人観光客の増加							
		実施した内容		△	実施した内容	△	△		
		<p>○外国人旅行者の誘致促進</p> <p>(1)インバウンド対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広島からの外国人旅行者の受入体制作り <ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者の動向調査 (モニターツアーでアンケート調査実施) 動画、パンフレット等の作成 (動画は観光協会のもを活用することとしたため未作成、パンフレットは作成) 湯ったり神楽体験パックの売り込み 日帰りインバウンドモニターツアー (未実施) 大阪・広島からの誘客を図るためのインバウンドチラシ作成 (2月) ②海外クルーズ船誘致の支援 <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員による通訳の実施 国際交流員による英訳浜田マップ作成 (5～6月) 国際交流員による英訳観光コースチラシ作成 (8、10月) ③国際交流員を活用した情報発信と外国語パンフレットの充実 <ul style="list-style-type: none"> SNS(英語、ベトナム語、中国語)による情報発信の実施 体験メニュー(扇原茶園での茶摘、ピザ作り)の情報発信 インスタグラムのアカウント作成 夜神楽情報掲載 各自治区まつりや秋の観光スポット紹介 外国人割引施設の紹介 ④食を通じた邑南町との交流 <ul style="list-style-type: none"> 広島県在住の外国の方も対象とした「アグリ&クッキング」の実施 ⇒広島県在住の外国人向け誘客ツアーに変更したため、未実施 		<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策</p> <p>(1)日本遺産認定された石見神楽を外国人観光客に現地で見ってもらうための仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 石見神楽なにわ館、広島市内観光案内所等へのパンフレット配架依頼 (6月) 国際交流員によるSNSを活用した情報発信 (随時) 中国の旅行会社を招聘し、浜田の魅力発見ツアーの実施 (10月) 石見神楽の練習見学、衣装着付けほか <p>(2)訪日外国人受入れ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外クルーズ船誘致の支援 <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員による通訳の実施 (7、8月) 観光事業者等を対象とした訪日外国人旅行者デモ接客事業の実施 (12月～2月) 4事業者5か所 浜田市×邑南町インバウンドセミナーの実施 (2月) 参加者:41名 	△	○	△	<p>○石見神楽を活用したインバウンド対策</p> <p>(1)日本遺産認定された石見神楽を外国人観光客に見ってもらうための仕組みづくり</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>⇒</p> <p>インバウンド対策は、新型コロナウイルスの影響により、当面は休止。国内向けのアフターコロナ対策に重点的に取り組む。</p> </div>	<p>継続</p>

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【産業経済部観光交流課開府400年推進室】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度					
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
19	開府400年記念事業の実施	歴史・文化の再認識と次世代への継承並びに交流人口・関係人口の拡大												
		実施した内容			実施した内容									
		<ul style="list-style-type: none"> ○記念事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> (1)記念式典の詳細決定 <ul style="list-style-type: none"> ・日時:平成31年10月13日(日)14時から ・場所:石央文化ホール ・講演テーマ、講師等を協議 (2)事前PRの実施 <ul style="list-style-type: none"> ①各種PR媒体の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、のぼり等の作成(9月) ・ロゴマーク等の提供(8月) ②フェイスブック(4月)、ホームページの開設(10月) ③各種イベント等でのPR <ul style="list-style-type: none"> ・合同ふるさと会(9月 東京都) ・島根ふるさとフェア(1月 広島市)ほか ④後援事業・協賛商品の募集 <ul style="list-style-type: none"> ・後援事業 三隅つつじまつり ほか8事業 ・協賛商品 瓦箸置き ほか12点 (3)市民団体への補助金制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ①浜田手づくり甲冑愛好会への支援 ②記念ミュージカル実行委員会との調整 ③その他団体への支援の検討 (4)“浜田さんいらっしやい”事業の準備調整 <ul style="list-style-type: none"> ①事前PR(ふるさとフェア等) <ul style="list-style-type: none"> ・浜田さん事業事前申込み 103人 ②宿泊助成に関する宿泊施設との調整 <ul style="list-style-type: none"> ・協力施設 19施設 ③観光施設割引に関する施設との調整 <ul style="list-style-type: none"> ・協力施設 13施設 (5)各種ゆかりの団体等への宿泊補助制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「浜田開府400年祭記念事業」交流促進補助金創設 (6)「開運なんでも鑑定団」の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・日時:令和元年6月9日(日)13時から ・場所:石央文化ホール (7)各自治区産業祭の拡充、冠事業の募集 <ul style="list-style-type: none"> ・冠事業「浜田の夜神楽週末公演」ほか (8)職員研修・出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修全10回 456名 ・出前講座 22回 565名(3月末現在) 	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
					<ul style="list-style-type: none"> ○記念事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> (1)石州浜っ子春まつり400年パレード(4月) <ul style="list-style-type: none"> ・10団体 146人参加 その他 鉄砲隊、田ばやし、五風会など 来場者 約25,000人 (2)「開運!なんでも鑑定団」公開収録(6月) <ul style="list-style-type: none"> ・お宝応募 101点 ・観覧 1,770人(906通)応募、1,033人観覧 (3)石州浜っ子夏まつり(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・事業PRブース出展 ・ゲスト浜田ケンジさんに特別住民票贈呈 ・浜田開府400年を記念した演出 来場者 約66,000人 (4)記念式典及び産業市(10月) <ul style="list-style-type: none"> ・式典 来場者 1,089人 記念動画、パネルディスカッション、記念表彰、作文コンテスト表彰、書道パフォーマンス ・BUY浜田屋市 来場者 約2,000人 出店 17店舗 郷土芸能ミニステージ 4団体 (5)「NHKのど自慢」生放送(11月) <ul style="list-style-type: none"> ・出場者20組(出場応募517通) ・観覧者907人(観覧応募2,877通) (6)各自治区産業祭の拡充(11月) (7)北前船寄港地フォーラムin浜田(3月) <ul style="list-style-type: none"> ・準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止 (8)歴史サイン看板設置 (9)記念展示 <ul style="list-style-type: none"> ①金城歴史民俗資料館企画展(5月～12月) ②浜田郷土資料館企画展(9月～3月) (10)市民団体への事業費補助 <ul style="list-style-type: none"> ①住民参加創作ミュージカルへの支援 ②浜田バル開催への支援(11月) ③市民団体の関連事業への支援 「浜田川で舟あそび」など11件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【都市建設部建設企画課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
20	充実した都市基盤の整備	城山公園等の整備 (令和2年9月)	○	○	○	○	○	○			
		浜田駅周辺整備 ・南北道路の整備 (令和3年度) ・駅前広場の整備 (令和2年度)	○	○	○	○	○	△	計画に基づく事業実施(南北道路整備)		
		市役所周辺整備 (令和8年度)		△				○	関係機関協議、要望継続		
実施した内容			実施した内容			実施した内容					
<p>○城山公園整備</p> <p>(1)関係機関との協議 ・社会資本整備総合交付金交付決定(5月) ・保安林内作業許可(4月)</p> <p>(2)事業実施 ・発掘調査 ・公園整備、園路、進入路整備 公園整備工事発注(7月) 園路工事発注(7月) 進入路整備工事発注(8月)</p>			○	○	<p>○城山公園整備</p> <p>(1)関係機関との協議 ・社会資本整備総合交付金交付決定(5月)</p> <p>(2)事業実施 ・発掘調査(二ノ門周辺) ・園路整備(9月) ・公衆トイレ整備(9月) ・進入路(浜田川側)整備(12月) ・安全柵整備(令和2年9月予定)</p>			○	○	<p>○城山公園整備</p> <p>(1)事業実施 ・公園施設整備(9月完成予定)</p>	
<p>○浜田駅周辺整備</p> <p>(1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・踏切詳細設計(昨年度から継続) ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)検討</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・ホテル外関係機関との交渉 ・測量調査設計完了 ・用地買収(1件) ・建物移転補償完了 ・ホテル周辺の水路外工事</p>			○	○	<p>○浜田駅周辺整備</p> <p>(1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・踏切詳細設計(昨年度から継続) ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部)</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)検討</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・関係機関との協議・調整 ・用地買収(2件) ・駅前広場整備工事 ⇒3月末完成を目指していたが、電柱や信号機の移設に期間を要したため、令和2年7月に完成予定</p>			○	○	<p>○浜田駅周辺整備</p> <p>(1)南北道路整備 ・関係機関との協議 ・用地買収及び移転補償(一部) ・道路工事着手(一部) ・JR施設工事着手(一部)</p> <p>(2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用(代替地等)、登記完了予定</p> <p>(3)浜田駅前広場整備 ・関係機関との協議・調整 ・駅前広場整備工事 7月末完成を目指していたが、電柱や信号機の移設に期間を要したため、12月完成予定</p>	計画に基づく事業実施(南北道路整備)
<p>○市役所周辺整備</p> <p>(1)関係機関協議、要望 ①公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(未実施) ②国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催 ・担当者協議実施、連絡会は令和元年5月に開催予定</p>				△	<p>○市役所周辺整備</p> <p>(1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催(10月) ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催(5月)</p>				○	<p>○市役所周辺整備</p> <p>(1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会(庁内)の開催 ・国公有財産最適利用連絡会(財務省中国財務局、浜田市)の開催</p>	関係機関協議、要望継続

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【地域政策部まちづくり推進課、教育部生涯学習課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
21	公民館のコミュニティセンター化	地域コミュニティを支える新たな拠点づくり(令和3年度)	○	△	○	○	○	○	<p>コミュニティセンターへ移行</p> <p>コミュニティセンター化した新たな地域拠点の運営</p>
		実施した内容			実施した内容				
		<p>○地域コミュニティを支える新たな拠点の「エリア」「機能」「施設」のあり方を検討</p> <p>(1)連絡調整会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課での協議 <p>(2)住民主体の地域コミュニティ方針の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の推進 ・学校、家庭、地域の連携 <p>⇒新たな住民主体のまちづくりの方針案において、公民館のコミュニティセンター化を進めることとした</p>			<p>○公民館のコミュニティセンター化の具体的な検討</p> <p>(1)名称、機能、体制、運営等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課での協議 ・先進自治体の視察(12月) ・浜田市協働のまちづくり推進条例検討委員会の専門部会における検討(11月～3月、計7回) <p>(2)関係機関との調整</p> <p>①公民館連絡協議会、地区まちづくり推進委員会との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の協議に参画(7回) ・公民館職員との協議(3回) <p>②教育委員との調整(6回)</p> <p>③地域協議会との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正副会長連絡会議(6月) ・各自治区地域協議会(5月、8月) ・浜田市協働のまちづくり推進条例検討委員会の協議に参画(11月～3月、計4回) 		<p>○公民館のコミュニティセンター化の具体的な検討、決定及び移行準備</p> <p>(1)名称、機能、体制、運営等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課での協議 ・浜田市協働のまちづくり推進条例検討委員会の専門部会における検討及び検討結果報告書の作成 <p>(2)制度内容の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の公民館との調整 ・専門部会での議論等を踏まえて決定 ・センター設置条例の制定(12月) <p>(3)移行準備</p> <p>①人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター職員や(仮称)まちづくりコーディネーター等の募集及び任用 <p>②公民館職員への説明</p> <p>③関係団体への説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会 ・地区まちづくり推進委員会 ・教育委員 <p>④住民周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり推進に関する条例の周知に合わせて実施(1月～) 		

【上下水道部工務課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
22	基幹管路の更新及び耐震化	基幹管路の更新及び耐震化	△	△	○	○	○	○	<p>計画に基づく事業実施</p>
		実施した内容			実施した内容				
		<p>○基幹管路の更新及び耐震化</p> <p>(1)更新計画案の作成</p> <p>①更新路線の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次更新計画の策定(6月) ・更新計画策定業務委託の発注 ・更新基幹管路の抽出 <p>⇒旧簡易水道区域を追加したため計画策定期間を令和元年度まで延長</p> <p>(2)更新及び耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路耐震化計画書作成 ・国庫補助要望(11月) ・実施設計業務委託(7月) 			<p>○基幹管路の更新及び耐震化</p> <p>(1)更新計画案の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公開(10月) ・年次更新計画(アセットマネジメント)の策定・公表(3月) <p>(2)更新及び耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7、8月) ・令和2年度工事箇所設計業務(7月) 		<p>○基幹管路の更新及び耐震化</p> <p>(1)更新計画に基づく事業実施</p> <p>①管路更新工事情報の見える化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事情報をホームページに公表 <p>(2)更新及び耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注(7、8月) 		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【上下水道部下水道課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
23	市街地下水道整備	○優先順位を決定し第1期工事区域の事業着手(令和2年度) ○第1期工事区域の工事完了(令和9年度)	実施した内容	○都市計画決定(法手続き) (1)関係機関協議 ①処理場候補地 ・土地所有者及び建物所有者と協議(1月) ②優先整備区域及びスケジュール決定(11月)	○	△	○住民説明会等を行い、都市計画決定 (1)関係者協議 ①処理場候補地 ・土地所有者及び建物所有者と協議 (2)説明会、公聴会の開催 ①整備対象地区の住民説明会を開催(8~9月) (3)都市計画の決定 ・浜田市都市計画審議会へ付議(1月) ・県知事法定協議(2月) ・浜田市都市計画決定(3月)	○	○	○処理場建設に向けた準備 (1)処理場建設候補地関係者協議 ①建物所有者との補償契約 ②土地取得に向けた事前準備(河川法等) (2)事業啓発 ①処理場建設候補地周辺住民を中心に、処理施設の説明会・視察を開催 ②浜田処理区を中心に、汚水処理の必要性についての啓発活動	・処理場建設用地取得 ・処理場の基本設計着手 ・詳細設計、建設工事着手準備
				(2)説明会、公聴会の開催 ①整備対象地区の住民説明会を開催 ・優先整備区域を一部変更したため未実施(令和元年度実施予定)							

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭支所産業建設課・防災自治課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
28	農業の振興	保全農地の明確化	○	○	計画	○農地の保全 (1)自治区内保全農地の明確化 ①農地状況調査1次結果のフィードバックによる行政区別問題点の提示 ・行政区別に1次調査結果を配布(12月) ②行政区別の「守るべき農地」の再分析 ・再調査終了後、分析開始(2月)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 広域集落協定の追加認定 コミュニティセンター等との連携検討 (仮称)集落営農支援システムによる農地管理
		山ノ内梨園の再生	○	○		○山ノ内梨園再生に向けた支援 (1)現生産者への支援 ①新技術の導入誘導 ・ジョイント栽培用稚苗発注(12月) (令和元年12月定植予定) ②担い手の確保に向けたPR ・大手企業へ参入提案の実施(1月、3月) ③継続的な改植推進と支援 ・284本の補植を実施(12月) (2)新規入植者への支援(エゴマ等の栽培) ①加工場建設に対する支援 ・事務所兼加工場建設補助(10月)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の活用検討 農業人フェア等を通じた新規就農者の募

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
29	観光交流	旭温泉の活性化	△	△	実施した内容	○旭温泉の活性化 (1)観光戦略の立案 ①各施設のロコミ度アップ対策 ・統一メニューの検討継続 ⇒温泉組合で協議したが、実現には至らなかった(8月) 若手従業員による検討会(1月) ②秋祭り夜神楽鑑賞モニターツアー実施(10月)	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 若手従業員の検討会の継続実施 近隣施設と連携したコンテンツ作成、実施

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
30	庁舎の利活用	歴史民族資料の展示(令和2年10月)	○	○	実施した内容	○庁舎の改修工事 (1)工事着工(1月) ・令和2年10月頃に展示開始予定	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 展示

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【弥栄支所産業建設課・防災自治課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
31	観光の振興	ふるさと体験村の在り方の整理と新体制での運営開始（令和3年4月）	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○直営による施設運営 <ul style="list-style-type: none"> (1)再生のための重点項目 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の拠点施設としての活用推進 ②安全安心な食文化の再構築 ③体験・交流の推進 (2)施設運営 <ul style="list-style-type: none"> ①部門別の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・管理、宿泊、浴場、体験事業 →直営による運営 ・食堂、特産品販売 →地元業者へ委託 	△	実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと体験村の運営再開準備 <ul style="list-style-type: none"> (1)体験交流事業の推進方針検討 <ul style="list-style-type: none"> ①プログラムの洗い出し <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの試行 ②専門家との調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家との協議を行い、先進地事例の情報収集を実施 ③提供者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム及び外部講師による研修を実施し、提供者となりうる地元住民を育成 (2)指定管理業務仕様の検討 <ul style="list-style-type: none"> ①外部意見を参考に、業務内容を整理 <ul style="list-style-type: none"> ・活用方針案、サウンディング型市場調査などを踏まえ、業務内容を整理 ②指定管理者選定に係るスケジュール管理 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月再開を令和3年4月に延期 ⇒地元団体への指名を検討したが、透明性を確保するために公募による選定とすることに決定 (3)再開に向けた改修 <ul style="list-style-type: none"> ・公募の動向を踏まえて改修する方針に変更 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年4月の運営再開に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> (1)指定管理者の公募及び決定 <ul style="list-style-type: none"> ①公募の実施(4~6月) ②指定管理者の決定(9月) ③業務引継ぎ (2)体験村の運営に向けた地域住民との連携体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ①弥栄地域を核とした体験プログラムの提供体制づくり ②指定管理者と地域住民(体験プログラム提供者)とのマッチング (3)その他の再開準備等 <ul style="list-style-type: none"> ①修繕・改修の実施 ②広報活動 	△	<ul style="list-style-type: none"> 弥栄地域・体験村を核とした体験プログラムの提供 指定管理者制度による運営
				<ul style="list-style-type: none"> ⇒直営は9月30日をもって休止 	×		×	△	△	△	
				<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の検証 <ul style="list-style-type: none"> (1)検証委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ①目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと体験村の経営再建に向けた協議 ②委員会構成:外部委員7名、内部委員4名 ③設置期間:4月~7月 (2)検証事項 <ul style="list-style-type: none"> ①組織について <ul style="list-style-type: none"> ・公社一連の不祥事や組織体制を検証し、今後の運営について提言 ②経営について <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画や部門収支の状況を検証し、今後の運営について提言 	○		○	△	△	△	
				<ul style="list-style-type: none"> ○施設の在り方整理 <ul style="list-style-type: none"> (1)施設目的の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 (2)部門別の公益性・収益性を判断 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 (3)地域との関り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会議において方針案作成 ○施設運営の方針を決定 <ul style="list-style-type: none"> (1)運営体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の在り方整理の内容を踏まえて、指定管理者制度により、対象施設を限定した運営方針案を作成 (2)新体制による運営に向けたスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者選定のスケジュール案作成 ⇒当初は令和元年度の再開を計画したが、休止期間を令和元年度未までに延長 	○		○	○	○	△	

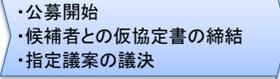
「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価					
32	農業振興	農業最適化									
		実施した内容	項目なし		実施した内容						
					<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守る仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1)法人間連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①組織の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・5法人の連携方式か合併方式か検討 ・5法人連携での取組開始を決定 ②設立準備委員会の設立 <ul style="list-style-type: none"> ・新組織の設立準備会設立 ③農業最適化計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・機械、担い手の効率化 ・作目の検討(米での収益試算) ④センチビードグラスの吹付実施 <ul style="list-style-type: none"> ・4.0ヘクタール(昨年度:2.6ヘクタール) ・他集落への普及推進 令和2年度に4集落で実施予定 西の郷集落ではほぼ全体で実施 ⑤ドローンの共同防除の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・75.3ヘクタール(昨年度:67.1ヘクタール) ・体制強化 ⑥除草ロボットの導入検討 <ul style="list-style-type: none"> ・導入の仕組みづくり、講習会実施 (2)青年部会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代の担い手育成 ・ワークショップの開催 (3)野菜生産者協議会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①共同出荷の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・江津への販売推進 ②共同調整の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・共同調整組織の検討、視察 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守る仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> (1)集落営農組織の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①広域管理組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・新体制での取組に向けた仕組みづくり ②集落毎の人・農地プランの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・管理すべき農地の明確化及び管理方法の検討 (2)農作業の省力化 <ul style="list-style-type: none"> ①センチビードグラスの推進 ②ドローン共同防除の推進 ③除草ロボットの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・要望調査、作業体制の構築 (3)高収益作目の導入検討 <ul style="list-style-type: none"> ・水稲と共に水田を守る作目の検討 (4)圃場整備事業との連動 <ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備実施に伴う管理体制の構築 (5)青年部会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ・体験交流事業などへの協力 (6)野菜生産者協議会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①共同出荷の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フェアの開催 ②共同調整体制の検討 	○	○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">農業最適化の推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">中心となる経営体の連携</div>

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価				
33	庁舎の利活用	文化財や民具の展示(令和元年度)								
		実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財や民具の展示スペース設置 <ul style="list-style-type: none"> (1)設置箇所の選定(11月) <ul style="list-style-type: none"> ・弥栄支所2階(旧教育委員会室)を利用 ⇒弥栄会館1階喫茶室へ変更 (2)展示資料の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の展示室から厳選したものを展示 ⇒弥栄会館1階喫茶室で展示開始予定(令和元年10月) 	○	△	○	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財や民具の展示 <ul style="list-style-type: none"> (1)設置レイアウトの検討 (2)展示資料の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の展示室から厳選したものを弥栄会館に展示(10月) 	○	○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">展示</div>

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【三隅支所防災自治課・産業建設課】

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
34	産業振興	石州和紙会館の新体制構築(令和2年度)		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議 ⇒参考施設のピックアップ、アンケート、現地視察を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止		△	○石州和紙の振興 (1)石州和紙会館の管理・運営体制 ・再度指定管理に向けた施設管理・運営体制の検討、協議	
		榎の生産量増加	○	△	○榎栽培の産業化の調査・検討 (1)新規榎栽培者の確保 ・新規栽培者3名(栽培面積:30a)を確保 (2)榎栽培、加工等の技術研修実施(3月)	○	△	○榎栽培の産業化の調査・検討 (1)新規榎栽培者の確保 ・新規栽培者4名(栽培面積33a)を確保 (2)榎栽培、加工等の技術研修実施 ・榎栽培研究会実施(3月)	
		収穫形態の多様化による西条柿の生産性向上	△	○	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施の検討 ・平成31年実施に向けて検討 (2)観光農園の実施の検討 ・5名参加(2日間開催) (3)収穫ボランティアの活用 ・32名参加(6日間開催)	○	×	○	○西条柿の振興 (1)柿オーナー制度の実施 ⇒生育不良(落果)のため、中止(6月) (2)収穫・合わせ柿体験の検討・実施 (3)各種作業ボランティアの実施 ・摘果ボランティア ⇒生育不良(落果)のため、中止(6月) ・収穫ボランティア(10~11月)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
			評価	総合評価	評価	総合評価		
35	庁舎の 利活用	石州和紙会館で 和紙道具を展示 (令和2年度中)	実施した 内容	○石州和紙会館での和紙道具の展示 (1)会館の改修検討 ・展示品の選定協議 ・増改築検討、見積協議 ・関係部署との調整 ⇒改修は行わず既存の会館内で展示 (平成31年4月)	実施した 内容	○石州和紙会館での和紙道具の展示 ・既存の会館内で展示開始(4月) ・ユネスコ和紙展に合わせて展示替え(10月)	展示	
		三隅支所内で生 活用具を展示 (令和元年度中)		○三隅支所内での昔の生活用具の展示 (1)歴史・文化学習コーナー(仮称)の設置 ・施設改修の検討 ・関係部署との調整 ・支所内執務室の配置検討 ⇒支所1階で展示開始予定 (令和元年9月) (2)歴史民俗資料館の在り方検討 ・地域協議会等、住民の意見聴取・集約 ・関係部署との調整 ⇒在り方検討の方針未決定		△ ×	△ △	○ ×